

## パブリックコメント 意見と市の考え方（まとめ）

施策①	「路線バスの維持・確保」・・・3 件	P32
主な意見	<p>○西武の路線バス区間でも乗客が少ない便に関しては、直接茶の花号で代替したり既存路線バスからの乗り継ぎ茶の花号の運行を行うことも有効との意見</p> <p>○本市におけるバス事業者の赤字解消とバス路線の維持が課題であり、市外観光客の利用促進や不採算路線の見直しなど進める必要があるとの意見</p> <p>○路線バスの維持・確保では、所沢から西武フラワーヒル間の西武バスを入曽（新駅ロータリー）まで延長してほしいとの意見</p>	
市の考え方	<p>公共交通は市民生活において重要な役割をはたしており、特に高齢化が進む中で交通弱者の移動手段の確保が必要です。現在、人口減少や少子化に加え、新たな生活様式等による利用者の減少や運転手の高齢化や担い手不足など公共交通に関する多くの課題に直面しています。これらの課題を踏まえ、本市では路線バスの維持・確保を中心とした施策を推進していく予定です。いただいたご意見は、「施策①路線バスの維持・確保」の実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	

施策⑦	「バス待ち環境の整備」・・・1 件	P35
主な意見	○時刻表が見にくい	
市の考え方	<p>停留所の時刻表が見にくいというご意見について、ご不便をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。皆様にとって利用しやすい公共交通機関となるよう、今後も引き続き改善に向けた取り組みを進めてまいります。</p>	

施策⑧	「デジタル技術の活用による公共交通の効率化」 …1件	P36
主な意見	○西武バスホームページから全便のバス接近情報を得ることができます。また西武鉄道が作成した「西武アプリ」からは、各線最寄り駅から発車するバスについて近々の発車時刻に限り閲覧が可能です。この既存2種の情報媒体を活用することは、待ち時間の有効活用や遅延時の不満解消の一助となり、バス利用の活発に貢献できると考えます。そして、2種の情報へリンクする二次元コードを「バス停」「公民館」「広報さやま」などで展開し、情報アクセシビリティを容易にすることも有効と考えます。	
市の考え方	ご提案いただいたとおり、既存のバス事業者が提供するリアルタイムの運行情報や発車時刻情報の活用は、公共交通の利便性向上に有効です。特に、二次元コードを用いた情報提供は、市民の皆さまがスマートフォンなどを通じて簡便にバス運行情報を確認できる方法であり、待ち時間の短縮や遅延に対する不安の解消に効果があります。これからもバス停や公民館、また広報紙などを通じて、より多くの方に公共交通を安心して利用していただけるよう、関係機関と協力してさらに改善に努めてまいります。	

施策⑨	「福祉団体等が運行する交通サービスとの連携」…1件	P36
主な意見	○(4)市内の病院の送迎バスを活用した高齢者外出支援事業の周知について	
市の考え方	市内の病院が運行する送迎バスを活用した高齢者外出支援事業は、病院の協力のもと、送迎バスの空席を活用し、交通空白地域から最寄りの公共交通機関等への移動の支援をするとともに、高齢者（満70歳以上）の方が買い物や通院などの外出を容易に行える交通手段の確保を目的として実施しています。周知に関しては、ホームページ等にて現在利用可能なバスの運行コースや利用方法の詳細を掲載しているところです。	

施策⑪	「生活環境に合わせた市内循環バス「茶の花号」の改善」・26件	P37
主な意見	<p>○公共交通（コミュニティバス）は収支よりも市民の生活の利便さが優先されるべきもの</p> <p>○バスの台数を増やす</p> <p>○コースの見直し（通院、最寄り鉄道駅、買い物場所、公共施設など）</p> <p>○運行本数を増やす（1時間に1本）</p> <p>○できる限りの無駄な時間が生じないような時刻の設定</p> <p>○小型、中型バスの導入</p>	
市の考え方	<p>公共交通は市民生活において重要な役割をはたしており、特に高齢化が進む中で交通弱者の移動手段の確保が必要です。現在、人口減少や少子化に加え、新たな生活様式等による利用者の減少や運転手の高齢化や担い手不足など公共交通に関する多くの課題に直面しています。これらの課題を踏まえ、本市では路線バスの維持・確保を中心とした施策を推進していく予定です。いただいたご意見は、「施策⑪生活環境に合わせた市内循環バス「茶の花号」の改善」の実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	

施策⑫	「新たな地域公共交通サービス」・9件	P38
主な意見	<p>○公共交通のセーフティーネットから漏れている交通難民といわれる人々の具体的な問題を丁寧に掘り下げ、解決することが重要であるとの意見</p>	
市の考え方	<p>公共交通の利用が困難な方々の具体的な問題を丁寧に掘り下げ、地域ごとのニーズに合った対応が必要である点、重要な視点であります。ご意見については、「施策⑫ 新たな地域公共交通サービス」の実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	
主な意見	<p>○デマンドバス・ライドシェア、乗合タクシーなど、取り入れてほしい</p>	
市の考え方	<p>デマンドバス・ライドシェア、乗合タクシーなどについては、公共交通機関との連携を図りつつ、地域交通の補完的な役割を果たす可能性があります。「施策⑫新たな地域公共交通サービス」の実施にあたり参考とさせていただきます。</p>	

主な意見	○子育て世帯で車がない、もしくは仕事でない時、夜間発熱時、タクシーが呼べず、救急車の要請もためられる。子育て重点の市として対応策を考えるべきである。(デマンドバス、救急時のタクシー対応策)
市の考え方	デマンドバスは複数の利用者が共同で利用するため、発熱時の緊急対応は困難です。急を要する場合には、ためらわず救急車をご利用ください。いただいたご意見は、交通事業者も参加し協議している狭山市地域公共交通活性化協議会の中でお伝えしてまいります。
主な意見	○堀兼でテスト中のデマンドバスを早く市内全域で実施してほしいです。
市の考え方	デマンドバスについては、地域ごとのニーズや課題は異なるため、慎重な検証が欠かせないと考えています。いただいたご意見は「施策⑫新たな地域公共交通サービス」の実施にあたり参考とさせていただきます。

施策⑬	「隣接市との広域連携に関する協議」・・・4件	P38
主な意見	○隣接市との広域連携に関する協議によって、地域の利便性が高まる施策を推進してほしい。	
市の考え方	「施策⑬隣接市との広域連携に関する協議」の実施にあたり参考とさせていただきます。	

7.2 推進体制・・・3件		P40
主な意見	○事業計画推進には、現状を知り、意見を生かす体制をとって欲しい	
市の考え方	地域公共交通活性化協議会のメンバーについては、狭山市地域公共交通活性化協議会設置要綱の第3条第2項第6号の規定に基づき「住民又は利用者」の代表者として、各地区の自治会連合会から推薦いただいた方を委員に委嘱しております。これは必ずしも連合会長ということではなく、自治会が日頃から地域住民と密接にかかわり、住民の声を良く把握しているため、推薦された方が最も適任と考えており、現行の体制で継続していく方針です。	

7.3 進行管理…2件		P40
主な意見	○実施時期はもっと早めにして欲しい	
市の考え方	実施時期については、事業者の協力も必要なことから、適切な準備期間と地域住民の意見を反映させることが大切です。そのため、現行スケジュールで進めることが最も効果的で、確実な成果を得るためには慎重に進めることが重要であると考えております。	

事業者…1件		
主な意見	○待つ所に会社のセンターに待っていることを知らせるベルや受付ボードを設置し、乗客に情報を伝えるようにする。 ○タクシーには営業地域があるが、隣接地域は乗り入れられるよう自治体、交通事業者間で連携を推進する。	
市の考え方	いただいたご意見は、交通事業者も参加し協議している狭山市地域公共交通活性化協議会の中でお伝えしてまいります。	